

葛塚地域公共施設のこれからを考えるWS（対策案）説明会  
—新潟市北区郷土博物館の福島潟エリアへの移転について— 議事概要

日 時 平成29年9月15日（金）午前10時～

会 場 北区役所 3F 大会議室

出席者

新潟市北区郷土博物館協議会委員 8名

杉本耕一、寺山知子、小島勝治、阿部紀夫、里村洋子、島吾郎、生田雅之、  
伊藤裕美子（敬称略）

新潟市財産活用課財産経営推進室 江戸誠一室長、石田淳係長

新潟市北区 佐々木 勇 副区長（地域課長）

新潟市北区総務課 高橋光久課長、吉澤秀則管理財務係長

新潟市北区郷土博物館 頓所洋一館長、神田直子主幹、塩原賢信主査

（司会）塩原主査

1 あいさつ . . . . . 新潟市北区郷土博物館 頓所館長

本日は、ご出席くださいまして、ありがとうございます。

昨年度末に開催した博物館協議会では、新区庁舎内に博物館の機能の一部を移転させるという案につきましてご意見を頂戴いたしました。結果として、新庁舎には移転しないということになりましたが、「葛塚地域公共施設のこれからを考えるWS」では、引き続き話し合いが進められております。本日、財産活用課経営推進室の江戸室長から説明がありますが、それについて協議会委員のみなさまから、ご意見をいただきたいと考えております。よろしくお願い致します。

2 葛塚地域公共施設のこれからを考えるWS対策案についての説明

. . . . . 新潟市財産活用課財産経営推進室 江戸室長

本日は、葛塚地域公共施設のこれからを考えるワークショップにおける、北区郷土博物館の状況についてご説明させていただきます。3月22日の協議会では、博物館は収蔵機能と展示機能を分離し、展示機能を新庁舎に、収蔵機能は、博物館・郷土資料収蔵庫に加え、廃校となる太田小学校やその他の空きスペースを検討する、といったその時点での案をご説明させていただきました。その際、協議会からは、「収蔵機能・展示機能・研究機能を分離することは、博物館として本来の役割を果たすことはできない可能性があるから反対である」といったご意見をいただきました。北区としては、このご意見を重く受け止め、区

役所の基本構想案では博物館の展示機能を複合するといったことを取りやめた、といったところですが。

・7月29日から、ワークショップを再開し、区役所以外の北区に関する公共施設をいろいろ検討しています。

御手許の資料は、第5回のワークショップで、事務局側で案として提示した「対策案」でございます。博物館につきましては、博物館の耐用年数を迎えたならビュー福島潟エリアに機能移転をして、跡地を売却するというものです。少し詳しく説明しますと、施設の使用の限界を迎えた段階で福島潟エリアの「郷土資料収蔵庫」もしくは「ビュー福島潟」といったところに展示機能を追加して、エリア一体で北区の魅力を発信しようというものです。

「収蔵庫」にしても「ビュー福島潟」にしても、当然今のまま博物館の資料を展示することはできないわけですから、その時期を迎えた段階、つまりは平成52年を想定しているわけです。その時点で検討して、必要があれば増築とか改築といったことを検討しながら展示機能を追加する方向になろうと思います。今から規模など具体的なことは申し上げられません、当然ながらその時の社会情勢とか経済情勢とかを考慮して、やっていくことになるかと思えます。ビュー福島潟は、年間10万を超える人々が訪れる優れた観光エリアです。そこに移転すれば、博物館も大勢の人から見てもらえるのではないかと思います。

先の協議会では、収蔵と展示は一体のものだというご意見をいただきました。また、2月25日に北区文化会館で開催された「北区まちづくりフォーラム」で、その時点での案の説明を行ったところ、「区役所に博物館の展示機能が移転すると、収蔵物が分散して管理が大変になるのではないかな」などのご意見が一般の方から出ました。こういったことから、福島潟の収蔵庫の活用を考慮して、このような案をご提示させていただいたわけです。

- 7月29日に行われたワークショップにおける、博物館に対するご意見を紹介します。
  - ・福島潟エリアに移転すると、ビュー福島潟を訪れる人たちに郷土の魅力を伝えることができる。耐用年数を迎える前に移転させてもよいのではないかな。
  - ・ビュー福島潟に地域外から遊びに来る方は、その周辺に行くところがあまりない。そういう点で、博物館を福島潟に移転させることはよいことだと思う。
  - ・福島潟と郷土の魅力を集合してみせることができるので、今よりもよいのではないかな。
  - ・これまで利用者が少なかった博物館も、多くの人が訪れる場所がよいのではないかな。

このように、区庁舎に移転する案よりも、福島潟エリアに移転する案の方が、賛成であるといったご意見をいただいているところです。

ワークショップの参加者は地域の一般の方々ですので、協議会委員のみなさまからは、専門的な見地からご意見をいただければと思っております。

### 3 意見・質疑応答

#### 杉本委員

前回、博物館協議会での説明会の折に、博物館の機能は、展示・保存・研究・教育など

が一体化していなければならず、機能分離して展示機能だけを区役所に移転させるのはよくないと申し上げました。そしてそのような方向で検討していただけたということでございました。今回は福島潟エリアへの移転という案が出されているということです。この場合も、展示・保存・研究・教育が一体化した新しい施設をつくるという理解でよろしいのでしょうか。

### 江戸室長

どういった規模になるとか、新しい施設になるとか、収蔵庫を改装して展示機能を増築するだとか、そのあたりのことは全く未定です。現段階では、福島潟エリアに移るという大きな方向性しか出しておりません。ずいぶん先の話ですので、状況も変わってくるかと思えます。ただ、現地で建て替えをするよりは、別な場所に移転した方が効率的ですし、閉館期間も短くてすみます。具体的なことはまたこれから先の検討ということにさせていただきますと思います。

### 杉本委員

いろいろなことを想定して意見を申し上げることはなかなか難しいが、博物館を拠点として今まで行ってきたようなことが、住民のさまざまな文化活動が担保できるのか。そこが一番心配です。20 数年先のことで、わからないと言われれば、意見の申し上げようはありません。

### 江戸室長

具体的なことは今から申し上げられませんが、研究機能をはじめ、博物館に必要な機能をしっかり整えるというのは間違いないことです。

### 島 委員

ビュー福島潟エリアに移転する博物館のメリットとしては、「ビュー福島潟」と「博物館」と「福島潟の自然」の三位一体で、相乗効果といたしますか、集客力もアピール度も高まると思います。一方、現在の博物館は、小中学生や地域の方が普段から親しんでいる市街地にある点で、非常によい位置にあるのではないかと考えています。移転することのメリット・デメリットがあると思うので、そういうことを議論されるかと思いますが、そもそも、この博物館は、北区を中心とする住民に重点を置いて活動すべなのか、あるいは外部の方々にアピールすることを優先させるのか、もちろん両方必要かと思いますが、そのあたりのことをもう少し議論することが必要なのではないかとと思います。

### 江戸室長

地域在住ではございませんので、そのあたりのことにまで思いが及んでいませんでした。貴重なご意見、大変ありがとうございます。資料には、跡地は単純に「売却」とありますが、そういうことを考慮しながら、例えば、ポケットパークのようなものも検討していくということもあろうかと思えます。

### 島 委員

メインとして、収蔵機能と展示機能・研究機能を合体させたものを福島潟エリアに移転するというのは、私もよいと思うのです。ただ、現在の場所はまことによい場所なので、今、ポケットパークということをおっしゃっていましたが、博物館には古文書など地域の歴史資料がたくさんありますので、地域の方々や学校の児童・生徒が、気軽に来て、調査したり、研究したりする機能を残してほしいと思います。分館とまではいなくても、そういった（研究とレファレンス）機能があればよいと思います。

### 江戸室長

福島潟エリアに移転したとしても、研究（とレファレンス）機能は保持できると考えます。ただ、いただいたご意見は、大変大事な問題だと思いますので、今後、考慮させていただきながら進めていきたいと思っています。

### 高橋総務課長

私はビュー福島潟の館長を務めたことがあります。

ビュー福島潟の役割について、建設当時からいろいろ議論しながらやってきた経緯がありますが、ビュー福島潟の役割は、観光だけではありません。よく観光施設といわれますが、スタートはそうではありませんでした。

ビュー福島潟は、豊栄のメインとなるような施設として、「自然と文化」をテーマに、継続した活動を続けてきました。福島潟はこの地域にどれだけの恩恵をもたらしてきたのか。福島潟は、開拓から始まり、いま、ひとつの「文化」を形成しています。これを伝えていくことも、ビュー福島潟の大きな役割だと考えます。

今や北区の小中学校の児童生徒は、環境教育の一環として見学に来るようになっていきます。ここに博物館の機能が加われば、北区の自然・文化という総合的な学習ができるようになると思います。このエリアには、県の施設ですが「環境と人間のふれあい館」があり、四大公害の一つといわれる水俣病についての学習もできます。

また、地域の治水に大きな役割を果たしている福島潟放水路は、福島潟から南浜、そして新潟東港へと注いでいます。北区を縦断するような大規模な治水整備ですので、北区全体のシンボルとして、福島潟エリアは整備されていくのだという感慨を持ってみています。

### 伊藤委員

秋葉区ですと「新津美術館」と「弥生の丘」とか、江南区ですと「文化会館」と「郷土資料館」とか、そこに行けばどちらも利用できます。北区の場合、むしろ一つのもので、今までビュー福島潟と博物館とに分かれていたのではなかったかと思います。博物館は、このたびの常設の展示替えて（テーマが「阿賀北の大地と人々の暮らし」に替わり、自然のなかでの暮らしの歴史が中心となったことで）、分かれていた二つのものが一つになれるのではないかという気がします。

ビュー福島潟には地域以外から来られる方が多いです。地域の方々からみると遠ざかるように思えるかもしれませんが、利便性はよく、駐車場も広い。

環境教育、治水の歴史を知るといことで学校教育に取り入れられてきている福島潟エリアに博物館が移転することによって、学校の教育活動で両方見学できるというメリットがあると思います。福島潟エリアへの移転については賛成です。ただし、具体的な計画は

まだ先ということですが、しっかりとした機能を備えたものにしてほしいと思います。

### 寺山委員

福島潟エリアへの移転は賛成です。でもせっかく移転するのですから、増築とかといった付け足しのようなものではなく、今以上の施設に新設していただきたいと思います。

現在の新区役所構想では防災の点では狭いように感じています。避難場所にもなれるような、防災の拠点とまではいかななくても、それを兼ねるような出来る限りしっかりとした施設にしてほしいです。博物館の中に収めるものは貴重な資料です。現在の機能にプラスして防災のための余裕のある建物にしてほしいと思います。

ところで、横井の丘資料館はどのようになるのですか？ 博物館全体に関ることなのでお聞かせいただければと思うのですが。

### 江戸室長

今のところ、横井の丘資料館をどうするかということは（この計画）には入っていません。建物がだいぶ老朽化していると聞いていますので、これから考えていかなければならないと思っています。

### 杉本委員

（先の発言のほかに）懸念されるのが地盤の問題です。現在の収蔵庫は建ってからまだ期間が短いですが、地盤沈下の問題が出てきている。地盤について、どういうふうを考えているのでしょうか。それを考慮された上で、移転を考えているのでしょうか。

### 江戸室長

福島潟エリアにある郷土資料収蔵庫の問題については、よく知っております。地盤の問題についてもよく理解しております。我々もそれが課題であると受け止めています。具体的にどうするかはまだわかりませんが、（将来の移転の際には）いろんな工夫で地盤の悪さを解消するような対策を講じるのではないかと思います。

### 伊藤委員

市民ガイドのボランティアの活動が昨年秋から始まっています。博物館はこうした活動により、市民が学んだり、また学んだことを伝える場にもなると思います。もし増築なり新築になった場合は、私たち市民が活動するスペースがほしいところです。

### 江戸室長

北区では、市民の方々と一緒に街づくりを行ってきていると聞いております。博物館の移転の具体的な問題については、今後、協議会委員の皆さまや一般市民の方々からご意見をいただきながら検討していくことだと思っておりますので、その際にはそういうことを大切にしていくのではないかと思います。

### 阿部委員

このような長期構想を具体的に検討するのは結構なことだと思います。また、このたび

の構想は、大枠としては非常に結構なことだと思います。ただし、新潟市「北区」郷土博物館にふさわしい施設整備をお願いしたい。

現在の博物館は、いまだ実態としては正直なところ「豊栄」の博物館だと思います。そして、過去に非常に短期的な見方で無計画に作ってきたものですから、その欠陥を引きずってきています。そもそも現在の敷地は、給食センターのための用地だったため敷地が狭い。当然ながら収蔵庫も狭い。ですから、十分な収蔵スペースが確保できないので、苦肉の策として、廃校になった高校の建物を借りて、資料を分散して収納してなんとかやってきたという経緯があります。合併建設事業に、ようやく収蔵庫が組み入れられ、福島潟エリアに新設されました。この収蔵庫の性格は、当初案では、ビュー福島潟との連携を前提として、収蔵庫内に保管しながら展示する「展示収蔵庫」だったのです。ところが地盤が悪いために、地盤の工事に経費がかかり、建築面積をかなり縮小せざるを得なくなったので、「展示+収蔵」という当初の目的とは別の性格のものになってしまったのです。

このような経緯をたどった博物館ですが、なかでも一番問題なのは、「北区」郷土博物館と言いながら、現実には、旧来の新潟市域の収蔵品がほとんどないということです。充実強化をこれから図らねばならないのです。

もう1点は、この収蔵庫は、ビュー福島潟との連携をうたいながら、かなり離れた場所に収蔵庫が建てられたということです。これではどこにあるかわかりません。20 数年後に建てるのであれば、ビュー福島潟に近い場所に建ててほしいと思います。

それから横井の丘ふるさと資料館の問題。この建物は倒壊の危機があり、現在、閉鎖状態にあります。横井のふるさと資料館は、無人施設で、見学しようとする、隣の木崎保育園から自分で鍵を借りてきて自分で開けねばなりません。

また、この建物は、横井小学校の校舎の一部ですが、そもそもその校舎は、昭和34年に当時の葛塚中学校舎の古い資材を使って建てたものです。ですから、無理があるのです。例えば、太田小学校の空き教室を借りるなどの対策が必要です。

このように現在の博物館は、建設当時の無計画を引きずっており、そこからさまざまな問題が派生していますので、新しい博物館の建設は、そういった問題を解決し、きちんとした計画のもとで、行ってほしいと思います。

## 江戸室長

豊栄ではなく北区の博物館というのはその通りだと思います。また、この博物館の経緯については、初めてお聞きすることでした。このような問題を解決しつつ、今後、取り組んでいくことになろうかと思います。横井については、今回の検討対象とはいたしておりませんので、そちらの問題はまた、別にとということになろうかと思います。

## 阿部委員

ビュー福島潟は、「自然と文化」がテーマということで、収蔵庫が最大限に活用されると思ったのですが、実際、「博物館」と「ビュー福島潟」が、連携することはできなかったわけですね。

## 高橋総務課長

収蔵庫の構造・機能が、脆弱・貧弱であることは、私も見てわかりました。また、「もう少し距離が近ければよかったのに」というご指摘もまさにその通りだと思います。

地盤は、豊栄全体としてよくないわけですが、少なくとも、ビュー福島潟との連携をうまく考えた形での整備が出来なかったということは、私もショックを受けました。とても最初の構想通りではなくなったことを残念に思いました。

私の館長時代には、ビュー福島潟に博物館の収蔵品がたくさん展示されていましたが、その後、指定管理者制度の導入により、収蔵品の管理保管についての専門業務についての不安が生じたことにより、収蔵品を博物館に返却したという経緯があります。

現在の収蔵庫、これから移転する博物館機能、ビュー福島潟、それらをうまくリンクさせたところではじめて「連携」という効果が出てくるのだと思います。

## 頓所館長

本日欠席の大月委員からはご意見を書面で頂戴していますので、ここで読み上げさせていただきます。

### (大月委員)

- ・平成 52 年度に博物館機能を郷土資料収蔵庫・ビュー福島潟に移転するというのですが、大事な展示品の管理・整備は大丈夫なのでしょうか?!ビュー福島潟に移した方が大勢の方に観てもらえるとは思いますが、展示スペースに問題はないのでしょうか?!20年後のことなので、その間にきちんと展示・整備できるように予算をあげてくれるのかどうか、先のことだからとりあえずという考えではなく、今後どのようになるか、どうしたいか、しっかりしたビジョンを提示してもらいたいです。
- ・市民が関心を持てる運営を考えていければと思っています。
- ・だれもが関心を持て、郷土の良さを学べる場所になれるように、民間の力も必要ではないでしょうか。

## 阿部委員

博物館では十数年にわたって、弦巻松蔭の書道美術館的な展示が大半を占めていましたが、「本来の博物館機能はどうしたのか」という市民の声がずいぶん聞かれました。ようやく昨年（歴史と民俗の）通史展示になりまして、本来の博物館の取り組みを市民ガイド等の協力を得てがんばっております。

そのことによって、小学生が総合学習の一環として見学に来るようになりました。そういうことはこれまでなかったことです。ようやく「郷土博物館」にふさわしい活動が行われてきていることを実感しています。移転までにはまだ20数年間あるので、人的な整備を含めて博物館にはがんばってもらいたいと思っています。

## 江戸室長

現在の博物館の活動が、20 数年後につながっていくと思いますので、またみなさんのお知恵を借りながら進めていくことになろうかと思っています。

## 島 委員

施設の耐用年数で申しますと、現在の博物館が H52 年、ビュー福島潟が H69 年。仮にビューのなかに移転した場合は、17 年間ということになります。ということであれば、やはり新築していただくのがよいのではないかと思います。

そうすると、今度は入館料の問題が、発生してくるのかと思いますが・・・。

### 江戸室長

ビュー福島潟の状況を踏まえていろいろ考えていかねばならないと思います。

### 杉本委員

この博物館は（市の教育委員会が所管する施設ということ）現在の新潟市では、唯一の博物館法に基づく登録博物館です。（市の教育施設であるという理念をふまえて）入館料を徴収しておりません。そういうこと考慮して、将来像を検討していかねばならないと思います。

### 江戸室長

博物館法の博物館ということであれば、将来的にそれに沿って考えていくのがよいと思います。また一方で、歳入確保も重要な問題ですので、総合的な判断が必要になるかと思えます。この博物館の入館無料の姿勢については十分承知しております。

### 小島委員

博物館をビューエリアにいくのは基本的に賛成です。しかし、ここで確認できたことは、北区役所が新築されても博物館はそこに移転せずに当面、ここに存命するのだということを確認させていただいた。

20 何年後のことをここで議論してもなあ、という気持ちもあります。時代の情勢もニーズも変わっています。どういう形で理想を実現していくかということについては、将来の人にまかせることがたくさんあると思う。いい形でそれが実現できればよいと思っています。当面はここで存命する博物館に対して手厚いご支援をお願いしたいと思います。

### 江戸室長

確かに、ここで話し合われたことについては、将来の人たちに任せる形になるかと思えます。当面、博物館は現状通りで運営されていくと思えます。

### 生田委員

葛塚東小学校に赴任して2年目になります。北区は、子どもたちが地域を学ぶためのいろいろな施設が整っていて、すばらしいと思います。葛塚東小学校の目の前に、博物館があることはありがたいことだと思っています。博物館が 20 数年後に福島潟エリアに移転するという構想案があるとのことですが、私個人としてはそれもよいかと考えます。そこで、「北区の自慢」、「新潟市にとっての自慢」になるように、将来像を描いていければよいのではないかと思います。

ここで太田小学校の用途がまだ明確になってはいないのですが、学校としては、太田小学校の財産が全部、葛塚東小学校に移すべきなのか、残していいものなのかという問題に



直面しています。当然、スペースの問題で、当館では収納しきれないわけです。統合実行委員会からは、140年もの歴史がある太田小学校の財産を、収納できれば展示できるようなスペースを設けてもらいたいという意見も出ています。

太田小学校の一室を使用して、新潟市の方で関知していただけるのであれば、そういう方向でやっていただけるとありがたいと思っています。太田小学校の利用法についていつ頃わかるのか、お聞かせいただければと思います。

### 江戸室長

学校教育の場では、地域学習という大事な役目があることは理解しています。それは、博物館の方で当面行っていくことですし、福島潟エリアへの移転後も考えていかねばならないと思います。

太田小学校舎については、市で活用するか民間の方で使ってもらいつつ協定を結んで避難所指定をしたり、といったことが検討されていますが、それがいつ頃決まるかということはまだ明確になっていません。地域別実行計画案を11月くらいに作成して、パブコメに代わるものとして全戸配布して年度内に方針を決めたいと思っています。

太田小学校の具体的なことについては、方針が決まってから、課題について整理してからの話になるかと思いますが、学校の財産は、原則的にすべて葛塚東小学校に移していただくということになるかと思っています。

### 里村委員

移転にあたっては、博物館の展示・保存・研究機能の充実ということ、そして市民への文化の啓発ということ、その柱だけは絶対に失わないで大事にしてほしいと思います。

移転先が福島潟エリアということですが、ハード面として、そこへのアクセスということでしたら、コミュニティバスの本数を増やすとか、新井郷川を船で行くとか、夢物語がたくさん出てくると思うので、それはその時点にあわせて考えてほしいということが一つと、それから高橋総務課長がおっしゃったように、ビュー福島潟との連携をもっと充実させていければ、利用者としては便利なのではないかと思っています。特に高齢者は、施設が点在していると大変なので、連携とアクセスを充実させていければよいかと思っています。

### 江戸室長

将来の夢を大切にしていきたいということで、地域の方々と話を進めながら整備していく。地域別実行計画作成の目的として、施設の削減もありますが、将来の希望に繋がる計画にしていきたいと思っています。

## 4 閉会